

たかねざわ

議会だより

7

July.2025
No173

新たな気持ちで 町と町民のために

Contents



- | | |
|--|---|
| ☐ 議会構成・新体制のスタート……………2 | ☐ ちょっとブレイク……………10 |
| ☐ 第431回定例会……………4 | ☐ 一般質問……………11 |
| ☐ 常任委員会審査……………6 | ☐ 民生児童委員とのカフェ・ド・ギカイ ……18 |
| ☐ 全員協議会……………8 | ☐ 突撃インタビュー 村上尚成さん ……20 |

議会新体制のスタート

新議員2名を迎え 委員会等構成が新たに



まちづくり常任委員会



前列
委員長 澤畑 宏之
副委員長 小池 哲也
後列
委員 横須賀 忠利
加藤 章
阿久津 信男
小堀 秀一

広報常任委員会



前列
委員長 菅谷 英夫
副委員長 小池 哲也
後列
委員 森 弘子
小堀 秀一
野口 昌宏
瀧 幸彦

くらしづくり常任委員会



前列
委員長 森 弘子
副委員長 野口 昌宏
後列
委員 瀧 幸彦
齋藤 武男
野中 昭一
菅谷 英夫

議員の動き

4月8日の町長選挙の告示日に、議員の1名が立候補したため、自動失職しました。
また、町長選挙と同日告示の町議会議員の補欠選挙は、前日の欠員数のまま2名で行われ、立候補者が2名であったため、無投票で当選が決まりました。
なお、補欠選挙当選者の任期は、他の議員と同様に令和8年4月29日までです。

議会の動き

議員の動きに伴い、議会を構成する各委員会の委員や、関係機関の議会選出委員等の一部が新たに決定されました。
議長・加藤章、副議長・澤畑宏之については、引き続き同職となります。
新体制の下、町民の声に寄り添う議会を目指して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

広聴特別委員会

委員長 澤畑 宏之
副委員長 森 弘子
委員 野中 昭一
横須賀 忠利

国民健康保険 運営協議会

委員 野口 昌宏
小池 哲也

消防委員会

委員 野口 昌宏
小池 哲也
菅谷 英夫

議会運営委員会

委員長 野中 昭一
副委員長 小池 哲也
委員 森 弘子
澤畑 宏之
野口 昌宏
菅谷 英夫

都市計画審議会

委員 野中 昭一
森 弘子
澤畑 宏之
菅谷 英夫

塩谷広域 行政組合議会

議員 野中 昭一
齋藤 武男
加藤 章
澤畑 宏之

監査委員

齋藤 武男

■町民の意見と要望を幅広く把握することを目的とし、主に「カフェ・ド・ギカイ」を開催しています。

■議会の円滑・効率的な運営のためのルールや、定例会や臨時会の進め方を協議しています。

新議員紹介とあいさつ



瀧 幸彦

■生まれ 昭和49年
■住まい 宝積寺
■趣味は読書と家庭菜園、国会議員政策担当秘書資格を保有



小堀 秀一

■生まれ 昭和38年
■住まい 西高谷
■趣味は読書、特技は書道と剣道、資格はファイナンシャル・プランニング技能士（2級）

高根沢町を夢と学びで誰もが住みやすい希望のまちにすること、そのために町民一人ひとりのご意見やご希望に耳を傾けて、町政に反映できるような活動を展開していきたいと思っています。
また、子どもたちが将来、高根沢町に定住できるような住みやすいまちづくりを目指していきたいです。

子育て支援、孤独孤立対策、農業支援、災害対策、暮らしやすい文化的なまちづくりを、制度面から考えていきたいと思っています。
国会議員公設秘書の経験から国会で学んだことを、スピード感そのままに、地方議会に活かしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「未来」につなぐ町政を 委員会が設置されました

「町民」に寄り添い 地域経営計画審査特別



第431回議会定例会のあらまし

定例会は6月3日から11日までの9日間の日程で開催されました。
町長専決処分承認、教育委員会委員の任命同意1件および固定資産評価審査委員会委員の選任同意2件、条例の制定2件、一部改正7件、補正予算4件、工事の契約および協定の締結2件、財産の取得1件、報告5件を審議しました。
また、議員発議として、高根沢町議会地域経営計画審査特別委員会の設置などを上程し、すべて可決しました。
一般質問は、6人の議員が登壇し、町政について執行部との論戦に臨みました。(P12～17)

神林新町長が所信表明

初日の冒頭に、4月の町長選挙で当選した神林町長が所信表明を行いました。



(一部抜粋)

町民の皆様の声に耳を傾け、力を結集して「未来」につなぐ町政運営を進めるため、仮称ですが「未来創造会議」や「若者ミートイング」の立ち上げを実行してまいります。



所信表明の全文はこちらから！

令和6年度一般会計 補正予算(専決処分)

令和7年度への繰越額の変更

新庁舎建設に係る事業費

補正前 4919万円
補正後 5734万円

理由：町民広場内の機関が移設する仮庁舎の整備が遅れるため。

宝積寺西通りの整備に係る事業費

補正前 2303万円
補正後 2880万円

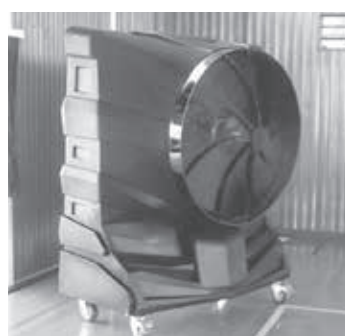
理由：用地の未相続地所有権移転業務に日数を要するため。

財産の取得

気化熱冷風機購入

概要

各小学校の体育館に気化熱冷風機7台を新規導入
随意契約
(5者見積合わせ)
契約金額 515万円



子どもたちに快適な環境を！

工事請負契約の締結

○町民広場内既存施設解体工事

・工事概要

建築物解体工事・アスベスト処理工事・植栽伐採伐根工事・外構解体工事
入札種類
事後審査型条件付一般競争入札(5者)

・請負金額

5億3190万円

・契約業者

松本・篠原特定建設工事共同企業体

工事施工協定の締結

○東北本線宝積寺・氏家間橋補修工事(大谷地内)

・工事概要

ひび割れ補修工事・断面修復工事・剥落防止工事
協定方法
随意契約(1者特命)

・協定金額

7173万円

・契約業者

東日本旅客鉄道株式会社

町の最上位計画づくりに議会も関与

地域経営計画審査特別委員会を設置

委員の定数

町議会議員13人

設置期間

「高根沢町地域経営計画2026」の審査終了まで

追加しました。

今年度、町では地域経営計画2026を策定するため、議会も計画策定段階から積極的に関わり、町民の意向をより取り込んだ計画とすため、特別委員会を設置する議案を本定例会に提出し、可決しました。

委員長に澤畑宏之まちづくり常任委員長、副委員長に森弘子くらしづくり常任委員長を選任しました。
示された素案に対し、7月に審議を行い、議会の意見をまとめ町へ提出する予定です。

人事案件

教育委員の任期

令和7年6月25日

～令和11年6月24日



岡本 多香子 氏
【新任】

固定資産評価審査評価審査委員会委員の選任

・内田光昭氏【新任】

任期は令和7年6月3日

～令和8年4月24日

・小林秀男氏【新任】

任期は令和7年8月31日

～令和10年8月30日

町民の負託に応えた各議員の賛否！ 第431回定例会

全議案はこちらから！



上程された議案等（概要）		採 決 結 果												
		瀧 幸彦	小堀 秀一	菅谷 英夫	小池 哲也	野口 昌宏	澤畑 宏之	加藤 章	齋藤 武男	横須賀 忠利	森 弘子	野中 昭一	阿久津 信男	
賛成：○ 反対：×														議決結果
議事進行のため採決に加わらず：－														
条例の一部改正														
議案第7号	高根沢町情報公開条例の一部改正 (不開示とする個人情報の範囲について、国の範囲と 合わせるため所要の改正をするもの)	○	○	○	○	○	○	－	○	×	×	○	○	原案可決

小学3年生が 議会を体験

5月26日に北小が、5月30日に上高根沢小が社会科見学として役場にきました。役場の各課を見学した後、議場の議長席と議員席に着席し、議会の雰囲気を経験しました。
子どもたちの中から、将来、議会議員が誕生することを切に願っています。



北小8名

上高根沢小16名



エコ・ハウスたかねざわ指定管理者を公募予定

3議案が当委員会に付託され審査が行われました

- 一般会計補正予算**
 - 介護保険特別会計繰出金 684万円
- 主な歳出補正**
 - 図書館・公民館指定管理委託料（令和8年度から12年度まで） 8億4000万円
- 債務負担行為補正**
 - 図書館・公民館指定管理委託料（令和8年度から12年度まで） 8億4000万円
- 生涯学習課長**
 - 指定管理委託料増額の要因は？
- 図書館・公民館指定管理委託の費用は？**

- 健康福祉課における新規採用職員の内訳は？**
 - 健康福祉課長
 - 保健師が2名、心理士が1名の専門職3名を採用した。町民への関わりをより手厚くしたい。
- 新採用職員が当課に多く配置されたがその内訳は？**
 - 健康福祉課長
 - 保健師が2名、心理士が1名の専門職3名を採用した。町民への関わりをより手厚くしたい。
- 条例の一部改正**
 - 「エコ・ハウスたかねざわ設置および管理に関する条例の一部改正について」
- 概要**
 - 近年の環境課題に関する世界的な潮流や社会経済の変化に対応するため、町が推進する気候変動対策等に係る取組の強化を図るため、所要の改正をするもの。
- 主な質疑**
 - 今年度、指定管理者の公募選定が行なわれ



地域密着型の活動を続けているエコ・ハウスたかねざわ

委員会審査結果
全員一致で可決すべきものと決定。

運営自体は問題ないが、開館以来事業の見直しが必要でない。
町が推進する気候変動対策や資源循環等の事業を行う指定管理者を選定するため条例を改正する。現指定管理者には、これを機に事業の強化に取り組んで欲しい。

くらしづくり常任委員会 今年度の日常調査活動計画は？



第431回定例会
くらしづくり
委員長報告全文

- ＜所管事務調査＞
1. 学校経営に関すること
 2. 福祉の充実に関すること
 3. 未来に向けた環境に関すること
 4. 町民の安心安全に関すること
 5. 高根沢町議会委員会条例27条に基づく日常調査に関すること

令和7年度における調査課題は
➡「運動を通じた健康づくり」です。
＊「子育て支援の充実」、「自主防災組織の構築」は令和6年度に終了し、報告書を提出しました。

道の駅たかねざわ元気あっぷむらの工事請負費などの増額補正を審議

3議案が当委員会に付託され審査が行われました

- 一般会計補正予算**
 - 社会資本整備総合交付金（都市計画事業） △2920万円
 - 一般交付金 200万円
 - 都市計画施設整備基金繰入金 6100万円
 - 都市再生整備計画事業債 △3200万円
- 主な歳入補正**
 - 松谷正光ドリーム基金積立金 200万円
 - 道の駅たかねざわ元気あっぷむら工事請負費 1500万円
 - 砂部工業団地内土地購入費 500万円
- 債務負担行為補正**
 - 土づくりセンター指定管理委託料（令和8年度から12年度まで） 2億7574万円

- 職員給与費の補正**
 - 職員給与費の共済費の補正は、負担率の変更に伴うものか？
 - 総務課長
 - 4月の人事異動による増減のほか、4月の負担率変更に伴う補正によるものもある。
- 国からの交付金の減額を基金で対応？**
 - 企画課長
 - 国の社会資本整備総合交付金が減額になり、都市計画施設整備基金から繰り入れしているが、国からの補填はないのか？
- 国からの交付金の減額を基金で対応？**
 - 企画課長
 - 国の交付金の減額と地方債の減額の分を、基金から繰り入れる。国からの補填はない。



リニューアルに大いなる期待
道の駅たかねざわ元気あっぷむら

修繕工事の影響は？
道の駅たかねざわ元気あっぷむらの修繕工事は、7月末からの営業に影響はないのか？

産業課長
株式会社元気あっぷが4月に施設を引き継いだ後に発見された箇所を修繕するもの。7月末までに完了させ、営業に不都合がないようにしたい。

委員会としての採決
全員一致で可決すべきものと決定。

まちづくり常任委員会 今年度の日常調査活動計画は？



第431回定例会
まちづくり
委員長報告全文

- ＜所管事務調査＞
1. 住民との協働のまちづくりに関すること
 2. 安心・安全なまちづくりに関すること
 3. 雨水対策に関すること
 4. 地域振興に関すること
 5. 新庁舎整備を含めた公共施設のあり方に関すること など

令和7年度における調査課題は
➡「新庁舎等の整備」、「産業団地の開発」、「自治会のあり方」です。
＊「新庁舎等の整備」は、令和6年度に報告書を提出しましたが、引き続き令和7年度も調査を行います。

一般質問

町民の声を町政に！

論戦

菅谷 英夫 議員 …………… P 12

①町民のために新町長が描く町の未来予想図は

野口 昌宏 議員 …………… P 13

①高根沢高校生徒への通学定期代等の支援を町がすべき
②小中学生に対する実用英語検定料の助成枠の拡大を

森 弘子 議員 …………… P 14

①町長の政治姿勢について
②こども生活緊急支援対策の実施で財源の見通しは
③「魅力的な住環境の創出」とは
④交流・観光・防災拠点は国道4号沿線なのか

瀧 幸彦 議員 …………… P 15

①町役場移転と町民ホールについて
②二輪車ツーリングプランの利用客をはじめ県外の顕在顧客にターゲティング広告を！
③人口・少子化対策について
④雨水浸透施設への補助を
⑤高齢者の補聴器購入への補助を

齋藤 武男 議員 …………… P 16

①自治会支援のため職員による地域担当制導入を
②結婚支援金の創設を
③土地改良事業の取り組みを

横須賀忠利 議員 …………… P 17

①公文書の作成理由と重要性は
②候補者の選挙運動中の戸別訪問は
③高根沢町立阿久津小学校校舎新築復旧工事について

※本誌では、太字の質問を要約して掲載しています。

一般質問って？

「一般質問」は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。
質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

会議録

会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約3ヶ月後に発行しています。図書館中央館で閲覧ができます。
また、町ホームページの「会議録検索システム」からご覧になれます。



会議録検索システム

一般質問の動画



一般質問の各議員のページにある二次元バーコード、またはYouTubeで「高根沢町議会 第431回」で検索を！
DVDは、図書館中央館で貸し出しています。

Facebookもチェック

町議会の情報を分かりやすく、タイムリーに発信しています。
ぜひ、この機会にチェックされては、いかがでしょうか。



傍聴者の声



足利銀行 宝積寺支店
支店長 秋場 陽子さん

6月の定例議会一般質問を傍聴しました。議会が多様な意見での活発な議論の場であること、そして重要な決定の場であることを改めて認識しました。議会は終始緊張感の中で進行されており、地域への思いに溢れる議論こそが、この緊張感を高める大きな要因であると強く感じました。
特に関心高く傍聴したテーマは「未来創造会議」「若者ミーティング」の立上げ計画です。様々なバックグラウンドを持つ町民や専門家が参加することで、多様なアイデアが集まり、より創造的で効果的な解決策が生まれる可能性が高まると感じました。
私たちも地域金融機関として、議会での意見や提言等をもとに、地域経済の発展に寄与できるよう取り組んでまいります。

歴史探訪

ちょっとブレイク

80年前に空襲があった！ 宝積寺駅に戦闘機が機銃掃射!?



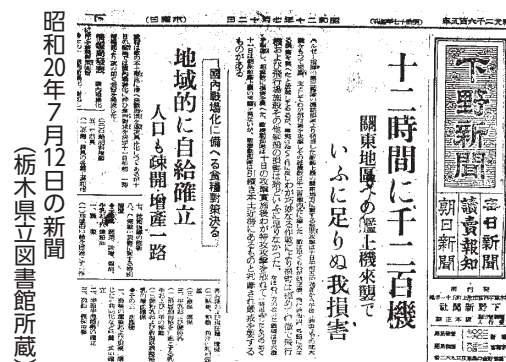
戦没者追悼式で「追悼のこたば」を捧げる町議会議員（町民広場内忠霊・慰霊之塔にて）

日本とアメリカが戦争？

今から84年前、日本とアメリカ合衆国は、太平洋をはさんで戦争をしていたことは皆さんご承知の通りです。
1945年3月にはアメリカ軍が沖縄に上陸し、迎え撃つ日本軍との間で住民を巻き込んだの凄惨な地上戦が行われ、また、8月には広島と長崎に原子爆弾が投下されて、すさまじい数の民間人が犠牲となりました。高根沢町でも兵士として戦争に駆り出され、家族を残して無念の死を迎えた方がたくさんおられます。（町民広場に忠霊塔と慰霊之塔がありますね）

高根沢町にも空襲が！

1945年8月15日に日本はアメリカを含む連合国に無条件降伏しましたが、その直前、7月10日、30日に、高根沢町の宝積寺駅に、アメリカ軍の戦闘機（グラマンF6F）が襲いかかり、銃撃によって死傷者が出ています。
当時の下野新聞には、「関東地区に艦上機来襲」などと記載されています。（艦上機とは航空母艦から飛び立った戦闘機のこと）
この時の内容が『高根沢町史』に記載されており、これをもとに当時の様子を見たいと思います。



昭和20年7月12日の新聞（栃木県立図書館所蔵）

宝積寺駅への空襲

七月十日、十二時十二分頃、敵機五機が阿久津村役場上空を西方に向かっていたが、うち一機が急旋回して宝積寺駅に着いた列車から降りる客をねらうように機銃掃射をあびせ六名の死傷者（死者四名、負傷者二名）を出した。



昭和20年7月31日の新聞（栃木県立図書館所蔵）

七月三〇日、午前八時半頃艦載機（艦上機）三機が編隊を組んで阿久津国民学校（小学校）あたりの上空を鬼怒川方向に飛んでいたが、一機が翼をふって合図すると三機とも反転して、駅付近をめざして急降下して機銃掃射を加えた。ちょうど宝積寺駅には客車が停車していて、機銃弾を受けて即死者一名、負傷者六名（うち四名は午後死亡）を出した。駅の休憩室、駅長室も機銃の貫通被害を受けた。
〔高根沢町史 通史編Ⅱ 近現代〕より抜粋〕

当時の日本の空は、敵の戦闘機が思うがままに飛び回り、至る所で攻撃され、死傷者を出していたことがわかります。戦争を他人ごとではなく、身近な出来事として考えることも大切かもしれませんね。

詳しくは、「高根沢町図書館 高根沢デジタルミュージアム」の「高根沢町史通史編Ⅱ」の「第四章 昭和恐慌と戦争の時代、第四節五悲劇の終焉」等をご参照ください。





問 高根沢高校生徒への通学定期代等の支援を町がすべき

答 【町長】 J R 烏山線を利用する高校生等に対して財政支援を実施する



一般質問の動画はこちら！

野口 昌宏 議員

この認識によって、高根沢高校とJ R 烏山線をセットとして捉え、維持存続に向けた対策として、「J R 烏山線を利用する高校生等」に対する財政支援を実施する方向で準備を進めていく。

人口減少が本格化する中、高根沢高校の存続は、町にとって教育政策のみならず地域政策の観点からも重要な問題であり、機を逸することなく、対策を講じる必要がある。

また、J R 烏山線も同高校と共に町にとっての貴重な地域資源であり、町民にとって欠くことのできない財産と言える。

Q JR 烏山線を利用する高根沢高校生への通学支援

高根沢高校の入学者が年々減少傾向にあり、町外から通学する生徒が全体の7割近くあることから、高校の存続という点からも、J R 烏山線を利用する生徒に対して通学費の支援をすべきでは？

A 町長



県立高根沢高校



JR仁井田駅



令和6年度から3級以上の英語検定料の助成を開始し、実績としまして、3級108人、準2級47人、2級4人、準1級1人の160人に対して、91万円余の助成を行っている。

A 町長

令和6年度から3級以上の英語検定料の助成を開始し、実績としまして、3級108人、準2級47人、2級4人、準1級1人の160人に対して、91万円余の助成を行っている。

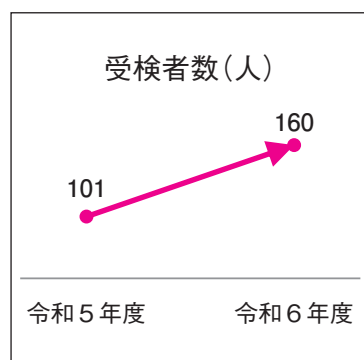
Q 現在、英検3級以上の検定料の助成が行なわれ、この制度を利用して受検する生徒が増えているとの報告がある。

英語教育のすそ野の広がりと英語学習へのモチベーションの拡大を目的として、小学生を含む、英検4級以上の検定料の助成を行うべきでは？

Q 小学生を含め4級まで検定料の助成の拡大を

問 小中学生に対する実用英語検定料の助成枠の拡大を

答 【町長】効果検証の継続と共に、総合的に検討したい



級	R 5	R 6
2 級以上	4	5
準 2	23	47
3	74	108
計	101	160

受検率も、前年の令和5年度14・2%から、令和6年度22・6%と8・4ポイント増加している。

しかし、この事業の効果検証は十分とはいえず、より効果的な英語教育のあり方を総合的に検討しながら、本町児童生徒の英語力向上を目指したい。

受検率も、前年の令和5年度14・2%から、令和6年度22・6%と8・4ポイント増加している。

問 町民のために新町長が描く町の未来予想図は

答 【町長】 私自身が先頭に立って一番汗をかきながらまちづくりに邁進していく



一般質問の動画はこちら！

菅谷 英夫 議員



町長公約の新施策とは

Q 新たに立ち上げるとしている「未来創造会議」や「若者ミーティング」の概要と創設スケジュールは？

A 町長

町民の皆様の声に耳を傾け、力を結集して未来につなぐ町政運営を進めるため、町の最上位計画「地域経営計画」に参画する新たな仕組みとする。「未来創造会議」は、計画の検証だけでなく、課題提起を含めた機能をもつ組織とし、「若者ミーティング」は、若者の柔軟な発想や視点で自由な意見を出して、話し合える「場」とする考えである。「地域経営計画2026」の策定から参画できるよう、早急に立ち上げたい。

Q どのような？道の駅

新たな指定管理者の運営に対する町の対応方針とその後の将来像は？

A 町長

令和10年度の完成を目指すとした当初の予定に沿って引き続き進めていく考えである。ゴールデンウィークに町民広場内の一部庁舎等の移転

A 町長

Q 新庁舎および文化・スポーツ複合施設の整備計画に、見直しや変更はあるのか？

Q 気になる新庁舎等整備計画

町で作成した指定管理要求水準書に示した基本方針のとおりの施設運営を求めている。町のシンボルとして存続させ、地域活性化の拠点としての機能を強化していく。また、建設当時の「食と健康の拠点」のコンセプトを十分意識しながら、今後も他の道の駅にはまねのできない魅力あるコンテンツを提供し、差別化を図ることの良い施設にしていきたい。

A 町長

町で作成した指定管理要求水準書に示した基本方針のとおりの施設運営を求めている。町のシンボルとして存続させ、地域活性化の拠点としての機能を強化していく。また、建設当時の「食と健康の拠点」のコンセプトを十分意識しながら、今後も他の道の駅にはまねのできない魅力あるコンテンツを提供し、差別化を図ることの良い施設にしていきたい。

A 町長

を完了させ、解体工事請負契約も議会の議決をいただいた。配置や平面計画等は、大枠で変更なしと考えているが、長期的視点で必要と認められる場合は、今後の設計の中で適切に対応していく。

極めて重要な事業

Q 上高根沢台の原地区の新たな産業団地構想を、それに伴う諸課題を含め、どのように進めていくのか？

A 町長

多くの企業が町内に立地することで、安定的な財源や新たな雇用の創出、地域経済の活性化が期待できる。一方で、住宅団地の造成やL R Tの延伸、地元小学校の存続などの諸課題は、産業団地整備完了後に、新たな企業が立地する中で、そのニーズを見極めながら検討していきたい。



地域経済の活性化に期待

A 町長

Q 学校規模適正化に向けた町立学校再編についての町長の考えは？

より良い学びの場を

令和5年11月に「学校規模適正化基本計画（素案）」を公表し、その後、令和6年7月の総合教育会議で、慎重かつ丁寧な審議が必要とされ、協議・検討が継続されている。より良い学びの環境を整えるために、着実に議論を積み上げながら、今年度中に基本計画案をまとめた。



こども生活緊急支援対策の実施で 財源の見通しは

【町長】既存の事業の見直しやコスト削減の徹底

森 弘子 議員

一般質問の
動画はこちら！



**子ども生活緊急支援対策
公約実現可能か**

Q 町長は、選挙公約でこども生活緊急支援対策として、「給食費の無償化」、「子ども食堂の機能・支援強化」、「高校生の通学支援費支給」、「文化・スポーツ活動支援」を行うとしているが、実施するうえで財源の見通しはあるのか？

A 町長
米の価格高騰や物価高の影響で子育て世帯の家計が厳しさを増している中、生活支援を加速化させることが必要であることから政策として掲げた。しかし、あらゆる生活支援対策を、今すぐに実施することは不可能である。必要性や緊急性等、財源の確保についての検討を行い、事業の可否や時期を判断していく。事業の検討については、既存事業の見直しやコスト削減の徹底とともに、有利な国県補助金活用や民間活力の導入を視野に入れていく。

学校給食費無償化は 下半期から

Q 学校給食費無償化の実施時期は？

A 町長
子育て世帯の家計に直結する、緊急性の高い課題と捉えているので、支援をより一層加速化しなければならぬと考えている。今年度下半期から実施できるよう、準備を進めている。



栄養のバランスを考えた学校給食

運営団体と情報の 共有が重要

Q 「子ども食堂の機能・支援強化」について、具体的にどのような内容で支援強化していくのか？

A 町長
町としては、町の施設を貸し出すほか、支援が必要な子どもがいる家庭に所管課を通じて活動内容を知らせ、学校を通じて児童生徒に情報提供するなどの支援をしている。また、社会福祉協議会では赤い羽根共同募金地域助成事業やフードバンクたかねざわの食材支援、さらに「地域支援合いセンターまると」において、ボランティアのマッチングを行っている。今後は、SNSを活用した情報発信の強化を図り、支援が必要な子どもについて運営団体と情報共有をするなど、地域の子どもたちとのコミュニティづくりのために、継続した支援を行っていく。

交流・観光・防災拠点は 国道4号沿線なのか

答 【町長】当該沿線を
想定している

相応しい場所なのか

A 町長
具体的なエリア等までは決定していないが、当該沿線を想定している。しかしながら、この区域については、開発に係る課題、洪水浸水想定区域の課題等、多くの難しい課題が存在するのも事実である。

雨水浸透施設への補助を

答 【町長】雨水管渠の整備に比べ
効果が限定的

宝積寺東部の雨水対策は

A 町長

Q 宝積寺東部は台地の上面にもかかわらず、側溝もなく下水道につながっていないので、排水効率の低い道路が多いと思う。「都市再生整備計画(宝積寺東部地区)」における抜本的な雨水対策と、近隣自治体が導入している雨水浸透施設設置への補助は？

A 町長
町では都市再生整備計画を策定し、駅東児童公園への雨水貯留施設の設置と、宝積寺北区地内の町有地を活用した雨水対策施設の設置を令和8年度以降に予定している。雨水浸透施設の設置は雨水管渠の整備に比べて効果が限定的と考えている。

高齢者の補聴器購入への補助を

答 【町長】聴力検査の周知を

孤立・孤独対策を

A 町長

Q 孤立・孤独対策に強い関心がある。高齢者の難聴問題は家庭内の孤立の要因となりうる。近隣自治体では高齢者の補聴器購入への補助を創設している。本町ではいかがか？

A 町長
本町では、聴覚障害者手帳をお持ちの方を対象として、補装具の購入費用等の助成を行っている。まずは、聴覚機能の低下に気づくための「聴力検査」を医療機関で定期的に受ける必要性を周知する。補聴器購入助成については他市町の動向を注視しながら検討する。



二輪車ツーリングプランの利用客をはじめ 県外の顕在顧客にターゲティング広告を！

【町長】Webメディアの効果的な活用等 について検討を進める

瀧 幸彦 議員

一般質問の
動画はこちら！



元氣あつぷむらの未来は？

Q 過去の第三セクターや民間の指定管理者の運営の「失敗の本質」は？

A 町長
かつては町民サービスと経営バランスの見極めができていなかった。

政策効果で観光客増加

Q 県外からの利用者促進をすべき。栃木県内に類似施設が増えたから来場者が減少したというが、茨城県は県民一人当たりの温泉施設数が栃木県の10分の1。茨城に広報すべき。

A 町長
近年、県内に二輪車の観光客が増加している。その理由は、平成29年に国土交通省が高速道路の二輪車ツーリングプランを始めたからだと推測している。なかでも北関東のコースは人気で、年間4万3千4百台あまりがこの制度を



政策により二輪の観光客が増加

A 町長
来場者の半数を県外者が占めていて、インターネットおよびSNSを通じて当施設を知った利用者は約30%。このことからマーケティングの必要性は認識している。





問 公文書の作成理由と重要性は

答 【町長】実施機関の職員は、公文書の作成義務を負っている



一般質問の動画はこちら！

横須賀忠利 議員

A 町長 高根沢町公文書管理条例第4条において「実施機関の職員は、実施機関における経緯も含めた意思決定に至る過程並びに事務および事業の実績を合理的に跡付け、または検証することができるよう、処理に係る事案が軽微なものである場合を除き、公文書を作成しなければならない」と規定している。

なお、実施機関とは「町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会および議会」と規定し、すべてが原則として公文書の作成義務を負っている。



公文書の重要性

Q 公文書の作成理由と重要性について伺う？

A 町長

議会公文書の扱いは

Q 議会の公文書への行政との関りは？

A 町長

議会内部の文章については、決裁などの行為について町長部局が関わることはないが、公文書の作成方法や管理方法などについて相談があった場合には、他の実施機関と同様に高根沢町公文書管理条例の所管課である総務課において指導助言を行っている。

問 自治会支援のため

職員による地域担当制導入を

答 【町長】新たな制度設計を進めていく



一般質問の動画はこちら！

齋藤 武男 議員

たんたんパスは自治会連合会が自治会加入促進を目的として、令和6年7月1日から開始し、今年度は自治会連合

たんたんパスの

利用向上策は

Q 自治会連合会が取り組んでいるたんたんパスの充実対策は？

A 町長

自治会を支援するための取り組みとして公約で掲げた職員の「地域担当制の導入」は、各自治会の活動状況の確認や先進自治体の事例調査・研究を進めるとともに、既存の制度や事業の整理等を行いながら、自治会のニーズに合った新たな制度設計を進めていく考えである。

自治会加入促進

Q 自治会支援のため、職員による地域担当制導入の考えはあるのか？

A 町長

会の総会にて、事業の周知強化を図っていくことが決定された。

町としては、ホームページや広報紙により周知に協力しているところである。引き続き自治会連合会からの相談に応じながら、事業の周知や協力店の拡大に向けた広報など、事業が魅力的で充実したものとなるよう、共に取り組んでいく。



取扱店とサービス内容は
こちら！

利用向上策に、サービス提供店舗の周知や拡充を！



提供店に提示されているのぼり旗

問 結婚支援金の創設を

答 【町長】他自治体の事例を研究

人口減少対策

Q 結婚支援金創設について取り組みの考えは？

A 町長

本町の婚姻率が県内でトップレベルであるという現状や

問 土地改良事業の取り組みを

答 【町長】事業の実施には

農業者の合意形成が必要

令和の土地改良事業

Q 土地改良事業の推進と、取り組みの考えは？

A 町長

農業を継続する上では、土地改良事業の必要性は高いと考えている。

土地改良事業の手法はいくつかあるが、事業対象農地すべてに農地中間管理権を15年

以上設定し、担い手への集団化や地域の収益性を向上させる「農地中間管理機構連型」の事業は、国が62.5%、県が27.5%、町が10%負担することになっており、農業者の負担はない。

しかし、事業の実施には農業者の合意形成が必要であるので、懇談会等で気運の醸成を図っていく。

問 候補者の選挙運動中の

戸別訪問は

答 【選挙管理委員会】

法により禁止された行為

候補者の挨拶回りは

飲料等の提供は

Q 投票率アップのために候補者が選挙運動の中で、一般家庭や企業等への戸別の挨拶回りをしているかどうか？

Q 候補者が集会の中で飲料や菓子類などを提供しているかどうか？

A 選挙管理委員会

A 選挙管理委員会

公職選挙法第138条において、何人も選挙に関し、投票を得る目的、得させる目的、または得させない目的をもって、戸別訪問することは禁止されている。訪問先には選挙人宅のみならず、会社や工場も含まれているので、これらの目的をもって戸別訪問することは、法により禁止された行為である。

公職選挙法第139条では、原則として選挙運動に関し飲食物の提供を禁止している。例外として認められるのは、「湯茶」および「これに通常用いられる程度の菓子」に限られており、質問の「飲料や菓子類」が「通常用いられる程度の菓子」であるならば、これらの提供は問題ないと考えられる。しかしながら、これらの方法が投票率アップには直結しないと考えられる。

民生児童委員とのカフェ・ド・ギカイ

支援のパイプ役
ボランティア精神
見守り活動
親身になって相談



町ホームページはこちら→



町民と議員が対話をしながら課題の共有と解決に向け検討する「カフェ・ド・ギカイ」。

5月15日は、民生児童委員協議会の代表者9名と、「民生児童委員の現状」「民生児童委員の今後の展望」の二つのテーマで、12名の議員と意見を交換しました。

「民生児童委員の成り手不足」など、切実な声が届けられました。皆さんも一緒に考えてみませんか。

民生児童委員の現状

自治会との情報交換を



会長
ミズマ 水沼 喜代子 さん

住民とのつながりが希薄になっている。高齢者の自殺や自然死で発見が遅れる事案も増えている。やはり自治会との情報交換は必要。

一人暮らし高齢者世帯が増えており、介護を受けず生活できるよう、フレイル予防にサロン等を開いている。



副会長
アイジ 英一 さん

少子高齢化が進み、援護を必要とする高齢化世帯、一人暮らし世帯が増加傾向にある。一方で、児童の数は減少してきた。子ども等の明るい言動が見聞きされない。

自ら助けて欲しいと申し出る住民が少なく、個人情報関係で、委員側からも踏み込めていない。今後、情報の共有を図っていくことが課題。

児童の数が減少



会計
カス 和子 さん

民生委員は欠員状態

民生児童委員は全国で約24万人必要だが、現在の数は約22万人で、欠員が増えている。本町でも選任されていない地区がある。

退職後も働いている人が多いので、委員になることが難しい。人手不足である。

民生委員の若返りを



監事
ヤマザキ 守彦 さん

民生児童委員自体が、高齢化している。若い住人が増えつつあるので、委員も若返りを

きたらと思う。今後は、若い人をどう取り込むかが課題だ。

車のスピードを出す人が増えており、児童・生徒が登下校で危ない状況だ。道幅を広げる整備をしてほしい。

高齢者に目を向けて



障がい福祉部会長
イノウエ 修 さん

民生児童委員の仕事の対象は、児童母子と高齢者と捉えている。児童母子は、国家存亡の問題とし、国・県・町でも細部に渡るケアを実施している。一方、高齢者が世の中から取り残されていると感じるので、自分としては高齢者に目を向けている。

委員の就任にあたり自ら準備した方が、ほぼ存在しない。新任・留任ともに高齢者が増え、退任を望む方が多い状況にある。

今後の展望

後継者探しは自治会や町で



監事
ケイ 水谷 京子 さん

なり手不足で後継者が見つからないのは、どこも同じ。人と人とのつながりが希薄になっているので、個人で後継者を探すのは難しい。今後は、自治会や町が、積極的に関わってくれることを望みます。

行政に期待する



世話人会長
ヒロシ 齋藤 広 さん

委員1年目に全ての行事や

新しい仕組みづくりを



生活福祉部会長
カワウチ シゲオ 繁雄 さん

若い方々はメリットがあるものしか興味がないため、町として、自治会を全て無くしてやってみるところまで掘り下げ、自治会がないから次はどうすればよいかを模索していく方法もあると思う。

自治会を「防災〇〇」という名前に変えて活動していくなど、新しいことを考えて

時代に合った改革を



副会長
サイトウ 齋藤 キイ さん

民生児童委員協議会の活動をしていく中で、高齢者（特に一人暮らしや二人暮らしのお年寄り）が増加している。

また自治会役員のなり手がない状況で、委員にも高齢化の波があり、次の担い手がないのが不安であり、課題でもある。

地域の子どもの数が減少している中で、学校の縮小や再編の必要性もあり、大変な時代になってきている。

今の時代に合った、行政を含めての改革が必要。

たかこう生の意見を町に提出！

1月28日に開催された、県立高根沢高校生とのカフェ・ド・ギカイ。町の良い所や足りない所など、高校生が感じている意見に議員の意見を添えて町に届けました。



←町に届けた意見はこちら

広報委員の 突撃インタビュー あなたの声を 町政に

祖父の背中を見て 農業に生きがいを感じて



むらかみ ひさなり
村上 尚成 さん (花岡東下)
趣味：子育て

高根沢町の次世代農業にとつて、とても頼りになる方のご紹介です。
農業の今後の展望に関心を持ち、農業一本の道を選択し、今ではやりがいまで感じているという村上尚成さん。
お二人のお子さんを育てながら、専業農家として奮闘中。そんな頑張る村上さんにお話を伺いました。



もうすぐきょうだい3人に

手伝いから経営主

Q 農業を始めたきっかけは？

A 祖父が酪農（乳牛）経営を行っていて、子供のころから毎日手伝っていました。そのころから農業に関心が高まり、高校は農業経営科に進学し、大学では農林業を学びました。
その後、農業生産法人で本格的に農業育成研修を受け、祖父の農業経営を引き継ぎました。

情報共有を生かして

Q どんな作物を作っていますか？また、苦労しているところは？

A 水稻とたまねぎ、さつまいもを作っています。苦労しているところは、近年の物価上昇により農業資材や肥料・農薬等の価格が値上りしており、現在の農業経営をかなり圧迫している状況にあります。なるべくコストを抑えるために様々な情報を若手農業者と共有しています。

次世代の農業経営

Q これからの農業についてどう思いますか？

A 地域の農業者の高齢化が進む中、担い手農業者の一人当たりの経営面積が増加しているの、雇用やスマート農業を導入し経営の安定化や地域農業の活性化を図っていかねばならないと思います。

持続可能な農業を

Q 町づくりに対して望むことは？

A 「道の駅たかねざわ元氣あっぷむら」が高根沢町出資会社の経営になるので、「元氣あっぷむら」を中心にして色々な分野で町の活性化を図ってもらいたいです。

また、若手農業者とコミュニケーションをとる機会を設けてもらいたい様な意見を取り込んで欲しいと思います。



農業は楽しいですよ



取材を終えて

とても子煩悩で、やさしい村上さん。

高根沢町の基幹産業である農業は、人が生きるうえで大切な生業であるからこそ、持続可能で所得が向上できる経営にしていくな必要があります。私も農業者の一人として、本町の農業の発展に寄与できるよう若い世代とも意見を交わし、町の未来を描きたいと思いました。
(小堀)

編集後記

町民と議会をつなぐ「カフェ・ド・ギカイ」。今回は民生児童委員の方々の声に耳を傾けました。議会も新体制がスタート。議会だよりへのご意見やご感想など、皆さまからのお便りをお待ちしています。



マチイロHP



トチギ
イーブックスHP

